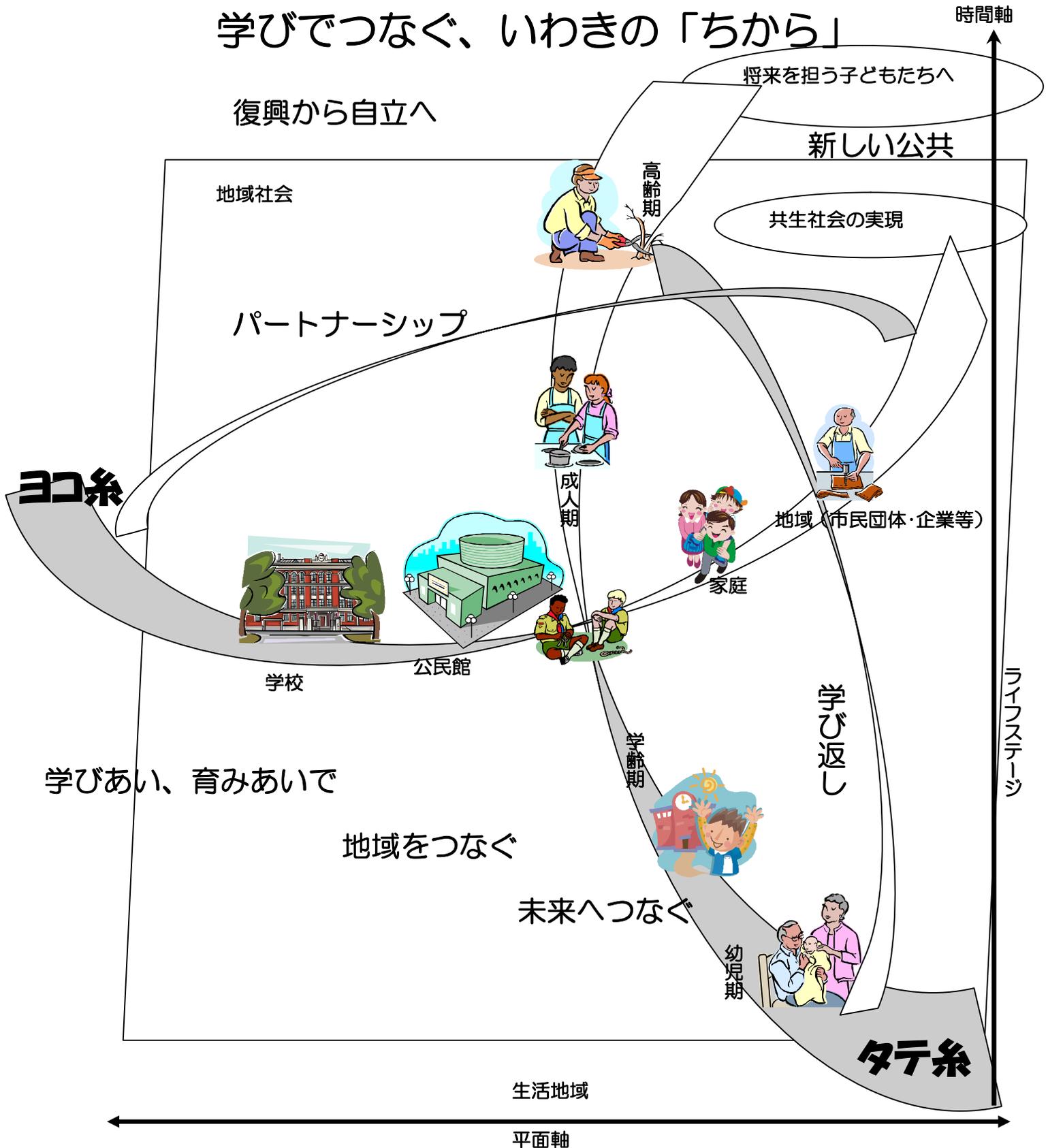


学びでつなく、いわきの「ちから」



いわき市が目指す生涯学習

学びでつなぐ、いわきの「ちから」

学びあい、育みあいで

地域をつなぐ

未来へつなぐ

「学び」の第一歩は、一人ひとりが自らの興味・関心から端を発し、趣味・教養といった楽しみや、人生を生き抜く力を磨いていくなど、それぞれが持っている能力の多様性の花を開かせていくための取組みから始まります。

このような知的好奇心を満たす、教養を深めるという「自分のための学び」もありますが、学びを通じた仲間づくり、学んだことを誰かに伝えたり、住んでいる地域のために活かすことによって、いわき市が、「いつまでも住み続けたい」と思えるまちになっていくことにつながります。

「まちづくり」という言葉には、商店街の活性化から文化的な暮らしができるための取組みまで、実に多様な側面があります。身近な地域における課題の解決を目標として行われる学習活動はもちろんのこと、学習活動が行われる中で、意図されないまま結果として地域課題が解決されていくという場合も含めて、自らの学びの成果を周囲の人々に分かち伝えながら行われる学習活動は、幅広く「まちづくり」のための学びであるということが出来ます。

この計画は、市民の主体的な学びによる「ひとづくり」を通して「まちづくり」につなげていくため、市民一人ひとりが、家庭・学校・地域・職場等々、多種多様な場面につながり、そして、将来を担う子どもたちにつないでいくために、タテ糸とヨコ糸をつむぎ合いながら、「学び」がまちを織り成していき、そうした積み重ねにより、人とまちの魅力をお互いに高め合っていくことで、いわき市が震災からの復旧・復興から自立に至ることができる考え、いわき市生涯学習推進本部委員を中心に関係者が集まりつくられたものです。